

## 令和2年度 関東農政局補助事業評価委員会（再評価・事後評価）

### 技術検討会（第1回）現地調査 議事録

開催日 令和2年10月9日（金）

場 所 ① 飯岡西部地区（千葉県旭市）現地調査 13:25～14:45

② 海匠農業事務所本所会議室（千葉県旭市）技術検討会 15:45～16:35

#### [技術検討会の議事概要]

##### （1）現地調査について

地区内会議室及びほ場にて、事業実施主体である千葉県より事業概要、進捗状況、及び農地集積状況等についての説明を行い、関係団体及び地元農家との意見交換を行った。

意見交換では、「担い手の営農状況」、「農地中間管理事業の活用状況」、「事業で用排分離したことによって増加した施設の管理」や「将来の地域の課題」等について意見交換が行われた。

##### （2）情報公開について

事務局）資料2のとおり、技術検討会の資料は公表、議事録は発言者名を記載し委員の了解を得たうえで公表及び第2回技術検討会の開催はプレスリリースを行い、公開とすることでよろしいでしょうか。

委員）異議なし

##### （3）令和2年度補助事業評価地区について

事務局）資料3のとおり、再評価につきましては3事業種11地区、事後評価につきましては2事業種2地区、合わせて13地区となっております。

##### （4）スケジュールについて

事務局）資料4のとおり、本年度は、第1回技術検討会を本日開催、第2回技術検討会を12月11日に開催、第3回技術検討会を2月12日に開催し、結果の公表は3月末を予定しています。

##### （5）委員長選出について

事務局）委員長は、委員の互選により選出となっています。委員の皆様から何かご意見ございますか。ご意見がないようでしたら、事務局としては、松井委員に委員長をお願いしたいと考えています。

委員）異議なし

(6) 再評価「飯岡西部地区」について

片岡委員) 現地調査の際に、農家の方から用排水の整備がされて問題は解消したと伺い、一定の成果は出ているのではないかと思います。また、飯岡西部地区は専業農家の方も多く、元気のある地域であると感じましたが、今後の課題として、いずれ後継者の問題があるとの発言もありました。現時点で、集団化や法人化の動きはありますか。

千葉県) 耕畜連携している個人の担い手農家を中心に、いずれは組織化していくのではないかと思います。

清水委員) 現地調査では、女性労働力がどれだけ農業に関わっているのかが、見えませんでした。農林水産省は、農業労働力が足りない中で、農福連携や女性労働力を推進しているが、飯岡西部地区では多様な人が活躍できる農業を育む環境はあるでしょうか。

千葉県) 施設園芸で切り花等の栽培や、JAの施設での加工品製造などで女性が働いています。また、イチゴやトマトの栽培では、家族経営で行っており、女性も働いています。ただし、農業従事者としてどのくらいの女性がいるかは把握しておりません。

清水委員) 女性は、土地改良事業の役員としてこの様な会議等に出席しなくとも、農業従事者として働いていると考えてよいでしょうか。

千葉県) 然り。

鈴木委員) 現場調査では、用排分離や暗渠排水が整備されて区画整理も進められ、生産者からは事業の効果に好意的な発言もあり、本事業が担い手づくりに繋がっていると感じました。また、本地区は、耕畜連携が特徴的ですが、この畜産は、当初の事業計画から組み込まれていたものでしょうか。

千葉県) 当初計画から耕畜連携を計画しており、創設換地した3,000㎡をたい肥置き場として活用しています。

鈴木委員) たい肥置き場からの排水による水質等への問題はありますか。

千葉県) 家畜農家で処理済みのたい肥を置いています。

鈴木委員) 大区画化に伴い大型の機械を利用しますが、レーザーレベラーは個人で所有しているものなのでしょうか。

千葉県) 受益者の中には個人でレーザーレベラーを所有している方がいます。

鈴木委員) 様々なことにチャレンジできる地区として高く評価でき、周辺他地区のモデル地区として活用されていけば良いと思います。

松井委員) 現地調査において、受益者の方々から事業に前向きな声が聞こえ事業の効果を感じました。また、他地区では、用排分離を行うと排水路の法面が大きくなり、維持管理が大変になると聞いたことがあるが、本地区では多面的機能支払交付金を活用して解決していると聞き、そのような方法があると感心したところ。なお、

多面的機能支払交付金の活用した活動は農家の方だけで取り組まれている印象を受けたがどうでしょうか。

千葉県) 令和元年度より、本地区では、多面的機能支払交付金を活用しており、まずは、農地維持支払を農家だけの取組として行っています。今後は、地区内に住宅も学校もあるため、周りの地域住民も一緒になって、道路や水路を管理していければと思います。

松井委員) 飯岡西部地区の周辺には、まだ土地改良事業を行っていない地区はあるのでしょうか。

千葉県) まだ土地改良事業を行うことができていない地区もあります。そこで、飯岡西部地区を先進的な地区として見ていただいていると思っています。

清水委員) 非農家は、本地区の事業について、何か意見があるのでしょうか。

千葉県) 非農家の方々と接する機会が少ないため、分かりかねます。

清水委員) 多面的機能支払交付金について、どの様に地域住民の方々を巻き込んでいくつもりでしょうか。

千葉県) 地域の排水も担っているため、農業を守っていくためにも周辺住民の方に参加いただけないか進めていきます。将来的には、子ども会や老人クラブの参画も見据えています。その様なところから地域の輪を広げていきたいと考えています。

片岡委員) 現時点で近隣の小・中学校で、田んぼや畑の体験学習等の交流は行っているのでしょうか。

千葉県) 現時点では行っていません。

片岡委員) 飯岡西部地区はよく整備されており、地元農家の方々の評価は良く、営農効率が上がっていると伺いました。住民の方々にも、自分たちが住んでいる地域の産業や農業を知ってもらえるような工夫が、今後、必要であると考えます。

清水委員) 旭市の学校給食は、地産地消の食材を使用しているのでしょうか。

千葉県) そこまで把握しておりません。確認したいと思います。

清水委員) 子どもたちの学校給食は、農家と非農家との交流の場として活用でき、地域住民の方々を巻き込んでいく1つの方法になると思います。

鈴木委員) 地域の住民を巻き込む取り組みは、土地改良事業計画の段階から組み込むことは難しいのでしょうか。

農政局) 現在、その様な取組は、土地改良事業計画の枠組みに入っていないませんが、重要な視点であり、今後の検討課題になっていくと思います。

千葉県) 農地の中に住宅地が点在している地域では、農家だけでなく非農家も住んでいるため、自然を求めている住民たちが環境保全活動を行っていることがあります。その様な地区では、計画段階から一緒になって農業も環境も守っていく活動が行

われていく機運があります。しかし、飯岡西部地区は、生産性の向上を優先として整備しています。

鈴木委員) 地域住民を巻き込む取り組みは、負担金の軽減を図るための方向性の一つとしても考えることができます。また、まだ先の話にはなりますが、飯岡西部地区は、スマート農業などにも取り組むことができる地区であると感じました。

清水委員) 飼料用米の栽培は、補助金を活用しているのでしょうか。

千葉県) 補助金を活用しております。

清水委員) 飼料用米の栽培は、地区全体でどのくらいの面積を有しているのでしょうか。

千葉県) 地区全体の栽培面積は把握しておりません。ただし、飼料用米を栽培している方々は、面積の半分を飼料用米、もう半分を主食用米として栽培している模様です。

清水委員) 本日、出席いただいた担い手農家の肉牛農家は、自らの農地で栽培する飼料用米を、全て自分の所で使い切ってしまうのでしょうか。

千葉県) 然り。

清水委員) 耕作する農地で栽培する飼料用米の数量が足りない時は、他から仕入れることはあるのでしょうか。

千葉県) 把握しておりません。

清水委員) 耕畜連携として良い事例を見ることができたと思います。

清水委員) 養鶏農家はどのくらいあるのでしょうか。

千葉県) 市内で 15 経営体、171 万羽おります。

清水委員) 養鶏農家も飼料用米を使っているのでしょうか。

千葉県) 飼料用米を使用している可能性はあります。

片岡委員) 旭市のパンフレットを拝見すると、4千頭の養豚を飼育している養豚農家が掲載してありましたが、養豚農家も飼料米を利用しているのでしょうか。

千葉県) 最近のデータは把握しておりませんが、昔は飼料用米を使用して育てているということを聞いたことがあります。

片岡委員) 今回の事業は、畜産農家への飼料用米の利用にも役立っており、1つの事業効果といえるのではないかと思います。

以上